

■“緑視率”について（市内候補地における緑視率の算出にあたり）

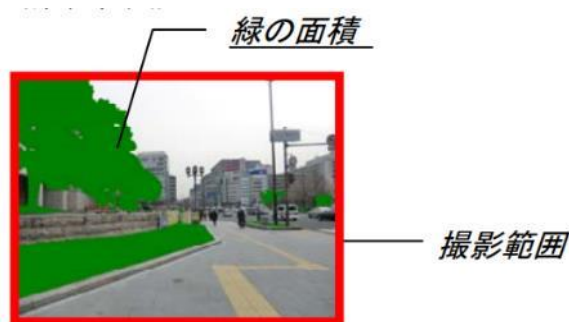
[用語の定義]

- 人の視界における緑の多さを測る割合のことです。
- 直接視覚で認識できる樹木（幹、枝等も含む）や草地、壁面緑化、芝生などの緑が対象になります。

[算出の方法]

- 測定地点で得られた画像をもとに、画像処理ソフトを使用して測定・算出します。

$$\text{緑視率} = (\text{緑の面積}) \div (\text{撮影範囲})$$



[目標指標としての活用]

- “緑視率”は、市民が実感することができ、市民の目線で見たまに評価することができる指標として有効です。
- 視覚的に緑の量を簡易に把握できる材料として、緑の環境が改善された点を確認するなど、継続的に緑の状況をモニタリングすることで、緑の変化を分かりやすく伝えることができます。

[測定地点（緑視率の測定場所）選定の考え方]

- 今後、緑化の促進が求められる場所を選定し、“多くの人が集う”“緑を実感できる”“今後の緑化活動により改善が見込まれる”“改善の余地がある”等の視点から測定地点を抽出することが考えられます。

[調査の時期]

- 緑視率の測定は、季節により樹木に葉がついている状況が異なるため、調査時期が大きく影響します。
- 調査を実施するにふさわしい時期については、緑が多く感じられる時期として、6月から7月が望ましいと考えられています。

（「緑視率調査ガイドライン：大阪府」より）

【参考】候補地①市道2-23号線（みずき通り）沿いの空間 測定地点及び緑視率

※ 緑視率の算出及び画像編集は「A I 緑視率調査プログラム（試行版）国交省国土技術政策総合研究所」による

【①-1 測定地点】緑視率：15.1%



【①-2 測定地点】緑視率：12.8%



[測定地点位置図：候補地①市道2-23号線（みずき通り）沿いの空間]



(Google MAP)

【参考】候補地②一般県道小山・下野線沿いの空間 測定地点及び緑視率

※ 緑視率の算出及び画像編集は「A I 緑視率調査プログラム（試行版）国交省国土技術政策総合研究所」による

【②-1 測定地点】緑視率：11.6%



【②-2 測定地点】緑視率：16.7%



[測定地点位置図：候補地②一般県道小山・下野線沿いの空間]



(Google MAP)

【参考】 候補地③一般県道自治医大停車場線沿いの空間 測定地点及び緑視率

※ 緑視率の算出及び画像編集は「A I 緑視率調査プログラム（試行版）国交省国土技術政策総合研究所」による

【③-1 測定地点】 緑視率：23.0%



画像編集後：緑に塗られた箇所の割合が緑視率 ▶

【③-2 測定地点】 緑視率：18.3%



画像編集後：緑に塗られた箇所の割合が緑視率 ▶

[測定地点位置図：候補地③一般県道自治医大停車場線沿いの空間]



(Google MAP)